

共同生活援助事業所 ハピネスみさき 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

日時: 令和8年2月12日(木) 14:30~16:00

場所: ハピネスみさき 食堂

出席者:利用者(代表)、利用者家族(代表)、地域関係者、行政関係者(美咲町福祉しあわせ課)、福祉関係者(津山地域障害者基幹相談支援センター)、施設職員(統括施設長、みさき福祉園 管理者:ハピネスみさき管理者が病欠のため代行)

1. 開会挨拶

統括施設長より開会の挨拶があり、本来は当該グループホーム管理者が出席予定であったが、体調不良により欠席となったため、統括施設長とみさき福祉園管理者の2名で説明・進行を行う旨の説明があった。あわせて、本会議は今年度から新たに求められる取組として、地域とのつながりを深め、外部の目を取り入れて運営の透明性と支援の質を高めることを目的として開催すること、参加者の意見を今後の適正運営につなげていきたいことが述べられた。

2. 出席者紹介

参加者全員による自己紹介が行われた。

3. 地域連携推進会議の目的と役割の説明

統括施設長より、以下の説明があった:

- ・ 本会議は今年度から国の指針により必須となった取り組みである
- ・ 入所施設とグループホームを対象とし、外部の目を取り入れることで施設運営の透明性を高め、支援の質を確保することが目的
- ・ 会議の4つの目的:①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への理解促進、③透明性・質の確保、④利用者の権利擁護
- ・ 情報共有、意見交換に加え、施設見学を通じて実際の環境や運営状況を確認いただく

4. ハピネスみさきについての状況報告

統括施設長より、以下の報告があった:

事業所概要

- ・ 開設:平成23年4月1日(平成28年10月1日より2棟体制)
- ・ 定員:16名(現在16名が入居)
- ・ 種別:共同生活援助事業所(介護サービス包括型)

利用者の状況

- 入居者人数:男性 12 名、女性 4 名
- 平均年齢:全体 55.1 歳
- 障害支援区分:平均 3.5

職員構成

- 合計 12 名(管理者、嘱託医 1 名、看護師、事務員、サービス管理責任者、生活支援員 2 名、世話人 5 名)

支援の状況

- 日中は全員が就労継続支援 B 型事業所(ワークみさき)へ通所
 - 夜間は宿直者 1 名を配置
 - 服薬管理、通院同行、口腔ケア支援、金銭管理、日用品の代理購入、居室清掃・洗濯状況の確認、通所先および家族との連絡調整等を実施
 - 行事としては、料理教室(年 4 回程度)を実施しており、通所先での行事参加あり
- コロナ前に実施していた 1 泊旅行の再開については検討中である。

医療機関との連携

- 利用者健康診断を年 2 回実施
- 内科、精神科、歯科等の受診状況について説明

家族との連絡・連携

- 外泊・外出は家族の希望に応じて対応し、緊急時等は随時連絡を行っている
- 書類の配布・郵送(個別支援計画表、広報みさき、預り金出納簿(希望者)、小遣い帳(年度終了後)等

施設としての課題

- 利用者の高齢化に伴う身体機能低下や医療受診増加
- 介護サービスへの移行検討
- 行動障害のある方への対応
- 家族の高齢化への対応(成年後見制度の利用や外泊機会減少等)
- 人材確保および職員定着
- 今後のニーズ増加への対応

今年度の取組として、従来の求人方法に加え、求職サイトの活用にも力を入れていることが報告された。

事業継続計画(BCP)について

- 自然災害や感染症に対する事業継続計画を策定
- 避難訓練実施:火災想定訓練、地震想定訓練を各 1 回実施
- 事業継続計画研修:机上訓練(7 月)、実働訓練(11 月)を実施

施設等・地域との連携

- 美咲町社会福祉法人連絡会「あったかこころネットみさき」へ参画
- 今年度は美咲町社会福祉大会への出店応援に参加(10 月 6 日)

- 4月2日の美咲町自閉症啓発活動にはグループホーム利用者から3名ティッシュ配りに参加していただき、次回の参加も楽しみにされている

虐待防止の取り組みについて

令和7年7月、みさき福祉園にて夜勤職員による虐待事案が発生。現在は法人全体で再発防止に取り組んでおり、外部研修への職員派遣(10月17日、1月7日~8日)、外部講師を招聘しての研修実施(11月6日)、また、虐待防止委員会は今年度2回、身体拘束適正化委員会は今年度3回実施し、委員会の内容について法人全体で共有を図っている。

事故・ヒヤリハットの状況

主な傾向：

- 転倒事故が中心で、階段、居室、洗面所、出入口付近等の日常生活活動線上で発生
- 利用者間のトラブル（注意をきっかけとした言い合い、感情高揚による攻撃的行為）が一定数見られる
- 精神的不安定や帰宅願望を背景に、敷地内を歩き回る、大声を出す等の行動がみられる場面がある
- 身体的要因（加齢による筋力低下、バランス不安定）や行動特性（こだわりの強さ、感情の高まりやすさ）が背景要因となっている
- 施設の経年劣化や使用方法に起因する物品破損、トイレ詰まり等も散見される

主な対応策：

- 見守りと声かけの強化（階段使用時の注意喚起、必要に応じた付き添い）
- 利用者間トラブルへの早期介入（クールダウンの場の確保、個別対応による感情調整支援）
- 環境調整によるリスク低減（手すり使用の徹底、安全な動線の確保、物品管理の見直し）
- 個別支援の強化と情報共有（ヒヤリハット段階での記録・共有、特性理解の徹底）
- 再発防止のための検証（事案ごとに原因分析を行い、必要に応じてケース会議で支援方法を見直し）

障害についてのレクチャー

- 利用者間トラブルや感情の高ぶりについては、悪意によるものではなく、障害特性としての「こだわりの強さ」や「自分のルールへの固執」が背景にあることが説明された。他者の行動を受け入れにくい特性から、注意が行き過ぎる場合がある。
- また、精神的不安定時には大声や歩き回り等の行動が見られるが、不安や混乱の表れであり、制止よりも安心できる環境づくりや声かけが重要である。
- さらに、加齢に伴う身体機能の低下も転倒リスクの要因となっており、特性理解と身体状況の双方を踏まえた支援の必要性が共有された。

5. 会計概要について

令和6年度の収支状況について報告があった。修繕費については、建物・設備の老朽化に

伴い水回りや給湯設備等の不具合が増えてきている旨の説明があった。今後も必要な修繕・設備更新を計画的に行いながら安定運営に努める方針が共有された。

6. 近隣からの苦情等の共有

地域関係者より、近隣からの苦情やトラブルは現在のところ特段聞いていない旨の発言があった。施設側からも、買い物等で外出される利用者はいるが、近隣でのトラブルは把握していないことが確認された。

7. 質疑応答

主な質疑内容:

Q: 個別外出（映画鑑賞、買い物等）の希望があった場合の支援の考え方について（福祉関係者）

A: 事前に行き先・行程・予算等を本人と確認し、必要に応じて到着時の連絡等も含めて調整しながら対応していること、過去には本人が計画を立てて1人旅を実施した例や、複数名で外出した例があることが説明された。また、コロナ禍により外出機会が減少し、利用者のストレスにつながった面があったと施設側から説明があった。

利用者家族からは、親の高齢化や体調面の事情により、家族だけで外出等の機会を確保することが難しくなっている現状が語られ、グループホームや通所事業所による外出機会・声かけ等の支援に対する感謝が述べられた。

Q: 外出時のルールについて教えてほしい。無断で出て行ってしまうようなことはないか？
(行政関係者)

A: 外出の際は必ず職員へ声をかけてもらう運用としており、無断外出が常態化するような状況にはないこと、過去には、帰宅願望が募って不安定になったことで姿が見えなくなり、捜索のうえ近隣の竹藪で発見された事例があった。帰宅願望等で利用者がイライラしたり落ち着かなかったりした場合は職員が話を聞きながら落ち着けるよう対応してきたことが説明された。

Q: 利用者本人へのインタビューとして、困りごとはないか質問を行う

A: 利用者からは、冬季は降雪等もあり控えているが、暖かくなれば町内の自宅の様子を見に帰りたいこと、町内のタクシー券等を活用して帰宅・外出することがあることが語られた。あわせて、かつて自宅の様子を見に帰った時には餌やりなどの世話をしていた、姿が見えなくなったことを気にかけているとの発言があった。

Q: 家族（親）の思いについて伺う

A: グループホーム利用を決める際、「親が元気なうちに施設に預けるのは悪いことではないか」と罪悪感があったが、市役所の担当者から「親御さんが元気なうちに将来の道を整えることが大切だ」との助言があり、救われた思いがしたとの話がある。

行政関係者からは、申請手続きに当たる際に家族が抱える背景や思いを受け止めしていくこ

とを念頭に置くようにしていきたいとの発言があった。

Q: 施設外周の環境整備（草刈り等）について（地域関係者）

A: 職員不足のため、以前のような形で現場職員が草刈りに時間を割くのが難しくなってきており、草刈りを業者に頼むこともある。

福祉関係者より、他法人の事例として、現場以外の事務職員や保護者の協力を得て草刈りを実施している状況が共有された。

8. 施設見学

参加者全員で施設内を見学した。見学後、チェックシートに記入いただき、以下の感想が述べられた:

- 清潔感があった。雰囲気もよい。（福祉関係者）
- 家庭的に感じて、気持ちが良かった。（利用者家族）
- 利用者のプライバシーを確保しつつもコミュニケーションもしっかり取ることができていた。（行政関係者）

9. 閉会

統括施設長より謝辞があり、今後も継続して開催する予定であること、今回は欠席となつたが、次回は管理者も出席する形で開催したい旨が述べられ、16時00分に閉会した。